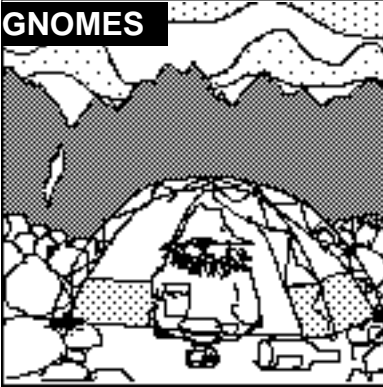


GNOMES



今月も暑いまま一ヶ月すぎてしまって、たいしたことやっていないという焦燥感があるけれども、ウインドウズの基本ソフトが壊れたりして修理に追われたりして奮闘していました。光通信にする前は問題はなかったのだが、光通信にしてから何度もウインドウズXPの基本ソフトがすぐに壊れて、常時接続はしていないのだけれども、配線は繋がったままで、ソフト的に接続は切っても接続用の器機に通信が流れているランプがたまにつくので、気がつかないうちに何か入ったのかも知れないと思っています。あぶないですねー。そんなこんなで今はウインドウズで通信をすると1分くらいで電源が切れてしまうので、安全なマッキントッシュを主体に使っています。しかし、面倒なことです。

毎日相変わらずママチャリで走っていますが、この間浅草でいつも同じ所にいるホームレスの姿が見えないのであわててしまいました。何しろ、朝晩必ずきちんと同じ道の角にいるものだから、いないとなると気になる。何年前にいなかったことがあったが目で探してみたら交差点の反対側のコンビニへゴミを捨てに行っている所だった。しかし、まあ、彼も少しは動かないと生きてゆけないであろうから、いないときがあって当然なのだが、何しろ今までその一回しかその場にいなかったことがなかったのだからどうにも異常であった。

しかし、いつも同じ道ばたにいて、ベッドや段ボールなどを毎日決まったおりに使い、昼間は片付け、夜はなるべくきっちり長方形に広げて、他のホームレスを寄せ付けようとする姿は、潔癖で、神経質でいい加減なことが嫌いなちょっと気が弱くて頑固な性格が見えている。それにしてもいつも同じ所から動かないというのは、本当は気が小さいのだらうなと思います。たまに他のホームレスが近づいてくるときの緊張して背筋を伸ばして見つめるかなつぼまなこには、不安感があふれている。うづきあいのが苦手なのだろう。普通に生活していたらけっこうきちんとした人なのだろうと思う。いつも目の前にいられる店も、彼が一人いるせいで他のホームレスがたまってこないで、黙認している形跡が見える。ちなみに道の反対側は、数人のホームレスが集まって夜になると飲んだり話したりと段ボールも次第に汚く広がってきているから、あんな風にならないだけいいと思っているのだろう。

これは考えてみると、日本に昔から数え切れないほどいた路傍の神様みたいなものかも知れない。神というものはもともと気ままでたたりもあるものだが、その一難とうまくつきあうと、他の気ままで荒ぶる神様達から身を守ることができるというものだ。そんな目で改めて見ると、なんとなく「ピリケン」に似ている気もしてくる。それにしても彼の頭がかなりあがってしまっているというのに気がつくのに4年程度かかっている。いつも野球帽をきっちりかぶっていてわからなかったのだ。

道ばたの汚れた神々が目に見えて増えてきています。そして一人一人を見ているといっぴひとからげにホームレスという分類で切り捨ててはいけない気がしています。いつ仲間になるかわからないし、すぐにメールのやりとりをする人たちも必ず出てきます。さて、そうやってきたら・・・さて本当はどっちがいいのか一概には言い難くなるのではと思っています。だってテントを担いで行ってきた山だって、残り物をあさり、道ばたの水で渴きをいやし、雨の時はずぶぬれでふるえながら夜を耐えていたのに、心は幸せだったではないですか。まあ今月は雨の中濁沢から北穂、奥穂と歩いてきたのですが、けっこう元気でした。

10月の「まなざし」の編集は16日におこないます。電子出版での絵本の作り方をまとめた絵本を作り、剣の絵本も作りました。穂高も作らなくてはと思っています。

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX 03-5600-0195

高村 哲

GnomesJpn@aol.com